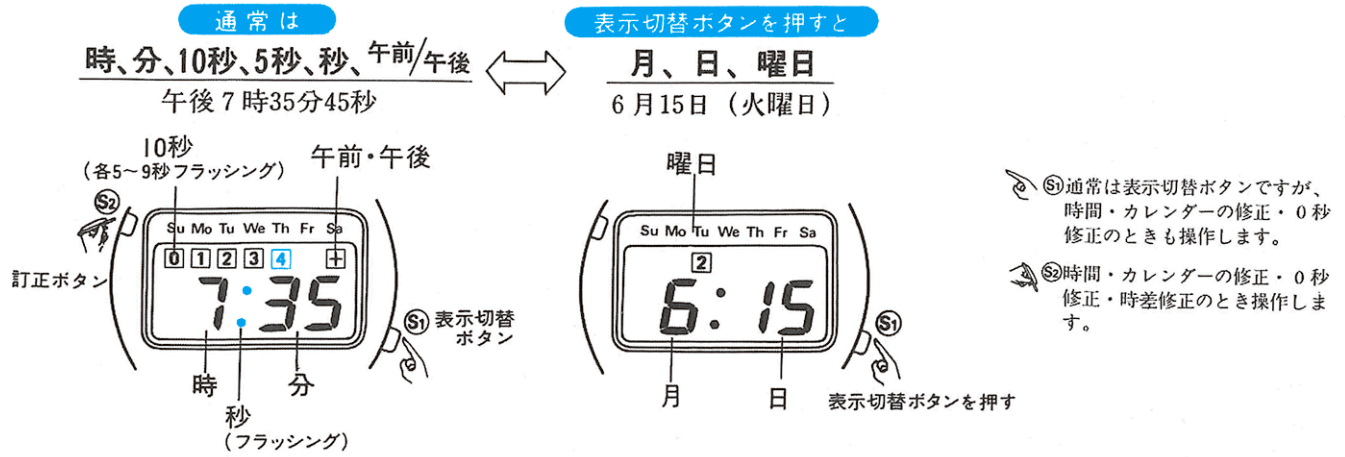
Bタイプ操作方法 （例 R-15Bシリーズ）



Ⓢ1通常は表示切替ボタンですが、時間・カレンダーの修正・0秒修正のときも操作します。

Ⓢ2時間・カレンダーの修正・0秒修正・時差修正のとき操作します。

■基本時計の合わせ方

●時刻合わせ　例：午後7時35分

		操作手順	表示
	1	セット条件　秒表示が50秒～59秒（5まで点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンⓈ2を押す	・「時」表示が1時間ずつすすみます（午後表示＋は12時を過ぎるごとについたり＝PM（午後）消えたり＝AM（午前）します）
	2	「午後表示」＋がつき「7時」のときボタンⓈ1を押す	・「10分台」表示があらわれ10分ずつ進みます
	3	「10分台」表示が「30分」のときボタンⓈ1を押す	・「1分台」表示があらわれ1分ずつ進みます
	4	「1分台」表示が「5分」のときボタンⓈ1を押す	・「午後7時35分」がセットされ時計が停止状態になります
	5	もう一度Ⓢ1を押す	・「秒」表示がフラッシングして午後7時35分ジャストより時を刻みはじめます

●時報にあわせるには現在時刻より1分ぐらいすすませたところでセットしておき時刻が時報にあったとき操作5でスタートさせます。

●カレンダー合わせ　例：6月15日We（水）

カレンダー合わせ中も時刻は正確にカウントされています。

		操作手順	表示
	1	セット条件　表示切替ボタンⓈ1を押し「カレンダー表示にしたまま」で訂正ボタンⓈ2を押す	・「月」表示を残して他は消え「月」表示がひと月ずつ進みます
	2	「月」表示が「6月」になったときボタンⓈ1を押す	・「10日台」表示があらわれ「10日」ずつ進みます
	3	「10日台」表示が「10日」になったときボタンⓈ1を押す	・「1日台」表示があらわれ「1日」ずつ進みます
	4	「1日台」表示が「5日」になったときボタンⓈ1を押す	・「曜日」表示があらわれ0 1 2 … 5 ＋ 0 …とひとつずつ移動していきます
	5	「曜日」表示が「3 We（水曜日）」にきたときボタンⓈ1を押す	・「6月15日We（水曜日）」がセットされボタンⓈ1をはなすと同時に時刻表示にもどります

●0秒修正のしかた（±30秒クリア）

このカシオトロンは、高精度です。したがって、月に一度、この「0秒修正」を行っていただけますと、時計はいつも正確です。29秒以内の「進み」、30秒以内の「遅れ」は、次の方法で簡単に行えます。

〈29秒以内の「進み」の場合〉 例：7時0分1秒～29秒の進みを7時ピタリに合わせる

		操作手順	表示
	1	セット条件　秒表示が0秒～49秒（0 1 2 3 4 の間で点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンⓈ2を押す	・すべての表示がフラッシングを始めますがこの間も時刻はカウントされながら進んでいきます
	2	0秒修正は分単位でおこなえます。時報にあわせて表示切替ボタンⓈ1を押しゆっくり離してください。	・この瞬間より29秒以内の「進み」が0秒にもどりジャストタイムよりカウントを開始します

〈30秒以内の「遅れ」の場合〉 例：6時59分30秒～59秒の遅れを7時ピタリに合わせる

		操作手順	表示
	1	セット条件　秒表示が0秒～49秒（0 1 2 3 4 の間で点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンⓈ2を押す	・すべての表示がフラッシングを始めますがこの間も時刻はカウントされながら進んでいきます
	2	0秒修正は分単位でおこなえます。時報にあわせて表示切替ボタンⓈ1を押しゆっくり離してください。	・この瞬間より30秒以内の「遅れ」を0秒に規正しジャストタイムよりカウントを開始します（時、分は同時にくりあがります）

●修正後各ボタン機能が作動しない場合はボタンⓈ1を押して訂正操作をおこなってください。

●時差修正のしかた

（例）現在の表示　　午前11時30分50秒（日本標準時間）
ハワイ標準時間　　午後4時30分50秒（時差＋5時間）

時差5時間であるので午後4時だけの修正を行えばハワイ時間のセットがおこなえます。

		操作手順	表示
	1	セット条件　秒表示が50秒～59秒（5まで点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンⓈ2を押す	・「時」表示を残して他は消え1時間ずつ進み12時をすぎると午後表示＋がつきます ・セットした「午後4時」とカウントをつづけている「分」「秒」が同時に表示され「午後4時30分50秒」のハワイ時間に修正されます（実際には操作時の経過時間もカウントされていますので正しい時刻にあっています）
	2	「午後4時」のとき訂正ボタンⓈ2を押す	

●日付変更はカレンダー合わせの要領で合わせてください。

注：10秒、曜日表示には1. 0 1 2 3　2. 3　3. ●►►►►の表示方法がありますが操作は10秒、曜日表示が●►►►の場合、午後表示は►，1 2 3の場合は＋マークになります。

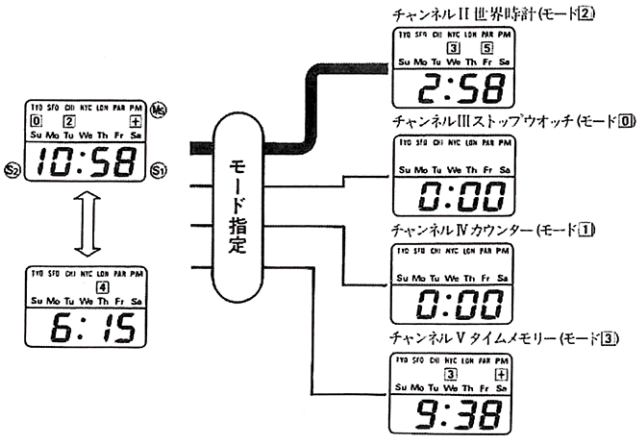
大、小の月を自動判別する電子頭脳が内蔵されていますが、2月末日のみ28日制オートカレンダーになっております。ごめんどうでも4年に1度うるう年のみ2月29日にカレンダー合わせをおこなってください。

カシオトロンX-1の使い方

1. 基本時計の操作

●時刻合わせ＝0秒修正　●時刻合わせ　●カレンダー合わせ　●時差修正はBタイプ操作方法に準じます。

2. カシオトロンX-1のしくみと見方



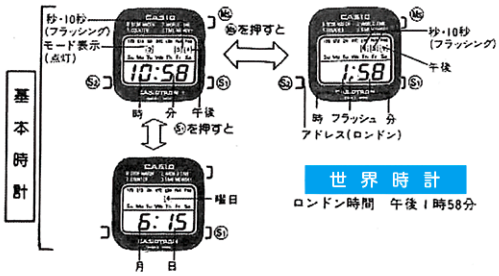
●モードは10秒表示部に点灯し、基本時計表示のとき確認できます。

0　ストップウオッチ
1　カウンター
2　世界時計
3　タイムメモリー(別時計)

●モード指定中も基本時計は正常に作動しています。

Ⓜ㊋モード切替ボタン
Ⓢ①表示切替ボタン
Ⓢ②訂正ボタン

チャンネル II 世界時計の使い方



基本時計のモード2確認

世界時計にするには、

Ⓜ㊋を押す　TYO 0　東京時間

以後Ⓢ①を押すごとにアドレスが、1つずつ移動して順次、各都市の時刻に切替っていきます。

アドレス1	SFO 1	サンフランシスコ時間
アドレス2	CHI 2	シカゴ時間
アドレス3	NYC 3	ニューヨーク時間
アドレス4	LON 4	ロンドン時間
アドレス5	PAR 5	パリ時間

コロン:がフラッシングします
(基本時計の場合はフラッシングしません)

世界時計使用中に基本時計の時刻を見たい場合

どのアドレスのときでもⓂ㊋を押すと、基本時計になります。

NYC 3 5:36
Ⓜ㊋を押す　基本時計 時刻表示
Ⓜ㊋を押す　NYC 3 5:38　(指定しておいたアドレスの都市の時刻が表示されます)

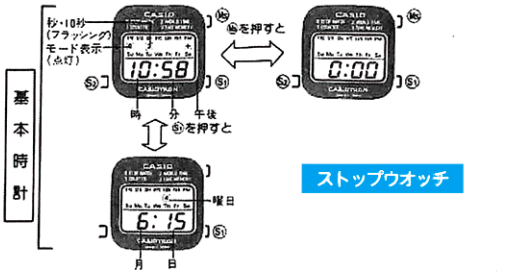
●基本時計にもどすときはⓂ㊋を押してください。以後Ⓜ㊋を1回押すごとに、指定アドレスの世界時時→基本時計→指定アドレスの世界時計……と切替ります。

世界時計の時刻合わせ

世界時計の時刻合わせは、各アドレス(都市ごと)にセットする必要はなく、どこか1つのアドレス(都市)の時刻をセットすれば、他のアドレス(都市)の時刻は、自動的にセットされます。

(世界時計の時刻表示はグリニッジ標準時間を基準とします)

チャンネル III ストップウオッチ/タイマーの使い方



基本時計のモード0確認

ストップウオッチにするには、

Ⓜ㊋を押す　0:00
(ゼロ表示以外のときは、Ⓢ①Ⓢ①Ⓢ①続けて3回押す)
スタート Ⓢ①を押す　0:01　0:02　….
ストップ Ⓢ①を押す　0:23
リセット Ⓢ①Ⓢ①Ⓢ①　0:00
続けて3回押す

ロスタイムがある場合

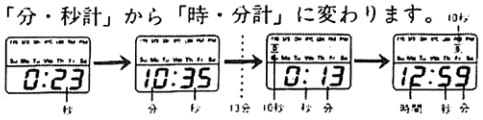
A タイム　スタート Ⓢ①を押す　0:01
ストップ Ⓢ①を押す　0:23
(リセットせずに、そのままスタートⓈ①を押せば、表示タイムに加算されます)
＋
B タイム　スタート Ⓢ①を押す　0:24
ストップ Ⓢ①を押す　0:56
リセット Ⓢ①Ⓢ①Ⓢ①　0:00
続けて3回押す

ストップウオッチ使用中に基本時計の時刻を見たい場合

ストップウオッチをリセットせずにそのままⓂ㊋を押せば、基本時計の時刻が表示されますが、ストップウオッチ機能は、カウントが続けられています。

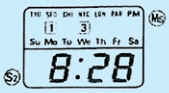
0:08
Ⓜ㊋を押して、時刻表示にする　基本時計 時刻表示
Ⓜ㊋を押して、ストップウオッチにする　1:25

●13時間までの時間を測定できますが、13分以後、「分・秒計」から「時・分計」に変わります。

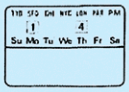


●基本時計にもどすときはⓂ㊋を押してください。以後Ⓜ㊋を1回押すごとにストップウオッチ→基本時計→ストップウオッチ……と切替ります。

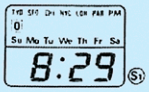
3. 特別機能の選定にはモード指定が必要です。



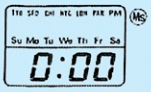
Ⓜ️を押したまま
Ⓢ2を押す。



時間表示が消えて、今まで指定されていたモードとフラッシングしている10秒表示だけとなり、10秒表示が10秒毎に移動します。

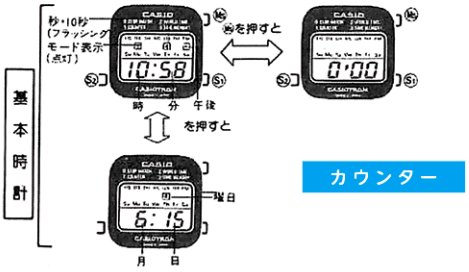


10秒表示が指定したいモードにきたときⓈ1を押すと同時に、いままで指定していたモードが解除され(消え)、新しく指定したモードにセットされます。表示は基本時計にもどります。



Ⓜ️を押すと指定した特別機能が表示されます。

チャンネル Ⅳ カウンターの使い方



基本時計のモード1確認

カウンターにするには、

Ⓜ️を押す　0 00
(ゼロ表示以外のときは、クリアー＝0になるまでⓈ1を押し続ける)

カウントⓈ1を押す　0 01
Ⓢ1を押す　0 02
⋮
5回目のⓈ1　0 05
クリアーⓈ1を0になるまで押し続ける　0 00

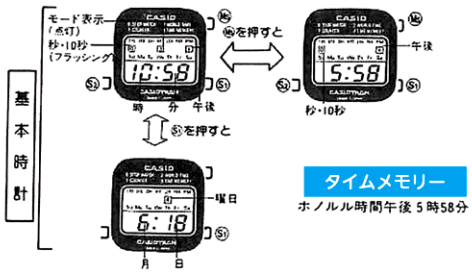
カウンター使用中に基本時計の時刻を見たい場合

Ⓜ️を押して見ることができます
(カウントした数は、その場合でも記憶しています。)

カウントⓈ1……Ⓢ1　0 06
Ⓜ️を押して時刻表示にする　基本時計 時刻表示
Ⓜ️を押してカウンターにする　0 06
カウント再開Ⓢ1を押す　0 07
Ⓢ1を押す　0 08

● カウントは続けて1,300までカウント可能です。
● 基本時計にもどすときはⓂ️を押してください。
以後Ⓜ️を1回押すごとに、カウンター→基本時計→カウンター……と切替ります。

チャンネル Ⅴ タイムメモリー(別時計)の使い方



基本時計のモード3確認

タイムメモリーにするには

Ⓜ️を押す　0:00 モード指定直後の表示
コロン:がフラッシングします
(基本時計の場合はフラッシングしません)

タイムメモリーの時刻セットのしかた

合わせ方の要領は、基本時計の時刻合わせの要領とほとんど同じですが、秒の単位は基本時計と連動して自動的にセットされます。

● 基本時計にもどすときはⓂ️を押してください。
以後Ⓜ️を1回押すごとにタイムメモリー→基本時計→タイムメモリー……と切替ります。

■タイムメモリーの時刻セットのしかた

操作手順	表示
1. タイムメモリーを確認して、訂正ボタンⓈ2を押す	●「時」表示をのこして他は消え、「時」表示が1時間ずつすすみます(午後表示Pは、12時を過ぎるとつきます)
2. 「午後表示」がつき「7時」のときボタンⓈ1を押す	●「10分台」表示があらわれ「10分」ずつ進みます
3. 「10分台」表示が「30分」のときボタンⓈ1を押す	●「1分台」表示があらわれ「1分」ずつ進みます
4. 「1分台」表示が「5分」のときボタンⓈ1を押す	●「午後7時35分」がセットされ時計は自動的にスタートします(秒表示は基本時計の「秒」と自動的に連動しています)